

それいけ!まえばし出前講座

心と体にうれしいメニュー 市内どこでも出向きます

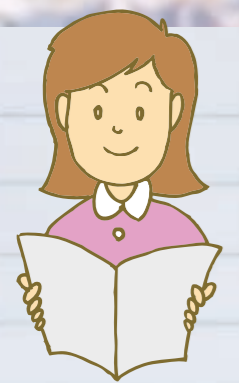


牛乳パックで手すきハガキ作り
(紙リサイクルとごみの減量化)



楽しく体を動かそう
(元気ひろげたいそう)

開催までの流れ

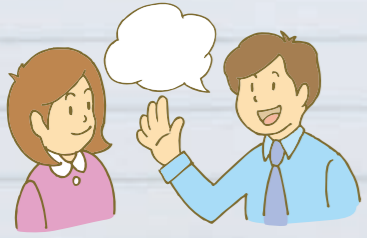


1 講座を選ぶ
詳しい講座内容はパンフレットや本市ホームページで。

2 申し込み
申込用紙に記入し、前橋プラザ元気21内生涯学習課や各地区公民館の窓口へ提出するか、同課ファクス、Eメールで。(会場は申込者が用意してください)



3 日時調整
生涯学習課から講座担当課に連絡し、開催日時を調整・決定します。講座内容について事前に打ち合わせをする場合もあります。



4 開催日当日
講座担当課から職員が講師として出向き、講座を行います。



身近な場所で、手軽に学びたい。今回は、市民を対象に提供されている市のサービス「それいけ!まえばし出前講座」について、生涯学習課を取材しました。
担当は市民編集委員高橋・杉山。



問い合わせは 生涯学習課 ☎210-2198

**市職員が届ける
学習講座**

本市では、平成11年から市民の生涯学習活動の振興と市民参加型のまちづくりを推進するため、「それいけ!まえばし出前講座」を開講しています。これは、市職員が講師となり、市が行っている仕事の内容や専門知識を学習講座という形で市民に届け、市政への理解を深めてもらうもの。受講者数は年々増加していて、昨年度は1万293人でした。

**種類豊富な
102のメニュー**

本年度のメニューは、市役所の各課が提供している81講座と公益企業などが提供している21講座の、計102講座。昨年度に申し込みの多かったものは、「元気ひろげたいそう」、「もったいないの心でむすぶごみの減量とリサイクル」、「みんなで支える老人医療・後期高齢者医療」などだそうです。近ごろ、地方の財政事情が何かと話題に上りますが、「前橋のふところ具合」という講座もあります。

学習形態は、講義や体操実技のほか、市のバスを使った清掃工場などの見学や親子で調理実習など、バラ

市役所1階市民ロビーや各支所・地区公民館、また一部のJRの駅や銀行、農協にも置いてありますので、ぜひ、ご覧ください。申込用紙は本市ホームページからダウンロードもできます。

なお、前橋・高崎連携事業の一環として高崎市講座も利用できます。詳しくは高崎市社会教育課☎027-321-1295へ問い合わせてください。

身近な問題を身近な場所で、身近な講師を呼んで学習する。出前講座

エテイーに富んでいて楽しく学べそうです。受講後の参加者アンケートでは、70%以上の人が「大変満足」と答えています。

**誰でも気軽に
利用できます**

対象は、おおよそ10人以上のグループで、受講人数に上限はありません。会場は申込者が用意してください。講師料は掛かりませんが、講座によっては実費負担がある場合も。開催時間は午前9時から午後9時までのうち2時間以内。土日曜でも実施できるので、どなたでも気軽に利用できるのではないのでしょうか。実際に利用した団体は、自治会関係者、児童・生徒・PTAなどの学校関係者、婦人会、老人会などが多く、企業の研修などにも利用されています。

**申し込みは
3通りの方法で**

申し込みは、所定の申込用紙に記入し、前橋プラザ元気21内生涯学習課や各地区公民館の窓口へ提出するか、同課ファクス(237-0722)、Eメール(gakushu@citymaebashi-gunma.jp)で。講座開催希望日の1カ月前までに申し込んでください。講座紹介のパンフレットと申込用紙は、

を利用することで市役所がより近く感じられます。ぜひ、仲間を集めて申し込んでみてはいかがでしょうか。

**編集
後記**
取材するまで年間延べ1万人を超えるほど多くの人が講座を利用しているとは思っていませんでした。これからは、いろいろな世代の人が一緒に学習や交流をする場所として、知識や情報収集、市政の理解などに前講座が利用されたいと思います。